

トビタテ!留学JAPAN

大学生等壮行会 増子次官が派遣留学生にエール

文部科学省および日本学生支援機構による官民協働海外留学支援制度「トビタテ!留学JAPAN」新・日本代表プログラム「大学生等対象」の第17期派遣留学生壮行会が7月20日、文科省において開催された。

今期の派遣留学生数は268名。また6月1日現在、支援企業・団体等は105社、団



体及び個人寄附等は43億円となっている。はじめに文科省から、増子宏事務次官が挨拶し「皆さん方は自分の(留学)テーマを持っていて、



派遣留学生らが「トビタテ!留学JAPAN」の掛け声で留学の成功を祈念(文科省3F講堂)



船橋氏(左端)からの記念品贈呈後の記念撮影

派遣された国の文化、歴史とか社会的なシステムといったものを是非とも学んで頂きたい。皆さん留学を経験すると、もう1度、より長期の留学に行きたくなる思いに駆られると思うので、1度限りでなく、2度、3度海外で活躍する機会を探求してもらいたい。皆様方の将来は非常に有望だと思うので、この機会を大切に過ごして頂きたい。是非とも頑張つて下さい」と派遣留学生にエールを贈った。続いて、支援企業・団体代表として日本たばこ産業(JT)の妹川久人執行役員より激励の挨拶が述べられた。

先輩派遣留学生からの挨拶後、第17期派遣留学生を代表して、イノベーターコースの千坂日路さん(お茶の水女子大学、渡航先・インド)、STEAMコースの山本泰輔さん(横浜国立大学、渡航先・フランス)、ダイバーシティコースの三浦日香さん(東京音楽大学、渡航先・英国)が決意表明を行った。

最後に、トビタテ!留学JAPANエグゼクティブアドバイザーの船橋力氏から記念品が贈呈され、記念撮影が行われた。

第17期派遣留学生は8月以降、世界へと飛び立っていく。